

大丸有地区の駐車環境

- 2-1 大丸有地区の駐車スペース(1)
- 2-2 大丸有地区の駐車スペース(2)
- 2-3 駐車場の運用形態

2-1 大丸有地区の駐車スペース(1)

- 大丸有地区には、地区全体で約13,000台(※)の駐車スペースがあります。この台数は、いくつかの大規模施設の駐車場台数と比しても、極めて大きな集積と言えます。
- 大規模な建物の整備が進んだ丸の内1・2丁目エリアには、約5,400台の駐車場があり、地区全体の42%を占めています。



(大規模施設の駐車場台数)

- ・ 東京ディズニーランド
8,000台
- ・ ディズニーシー
4,500台
- (臨時等を含め計約20,000台)
- ・ 御殿場プレミアム
アウトレット (場内外計)
5,000台
- ・ 成田空港 (空港内P1,2,3,5)
4,240台

資料) 各施設HP等より

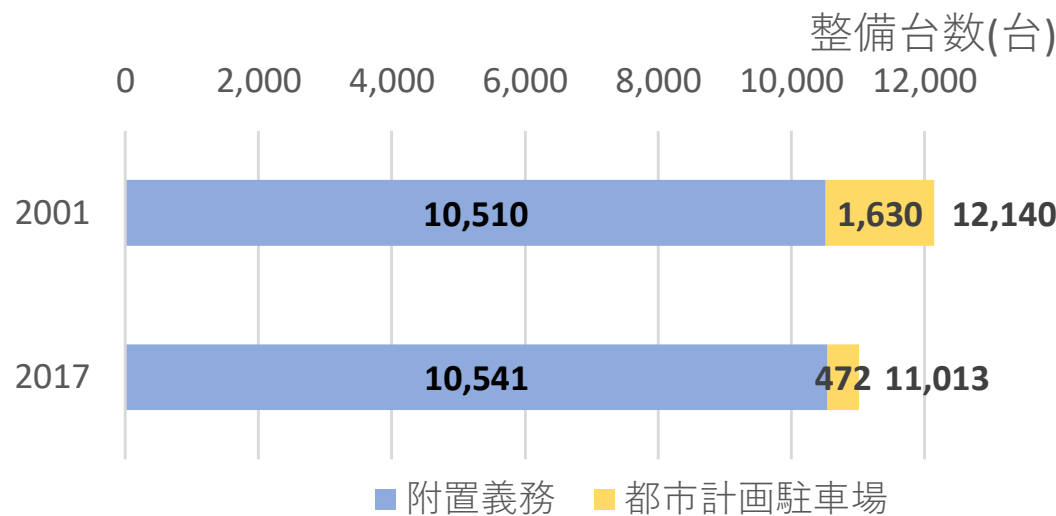
資料) 第3回駐車需給実態調査 (第13期)

※2017年アンケート調査回答66ビル合計11,013台と未回答14ビル合計2,020台(過年度回答データ等より)との合算値
なお、以降の地区全体の整備台数比較等は、各調査年アンケート回答ビルの合計値を用いている。

図2-1 ブロック別駐車場整備台数

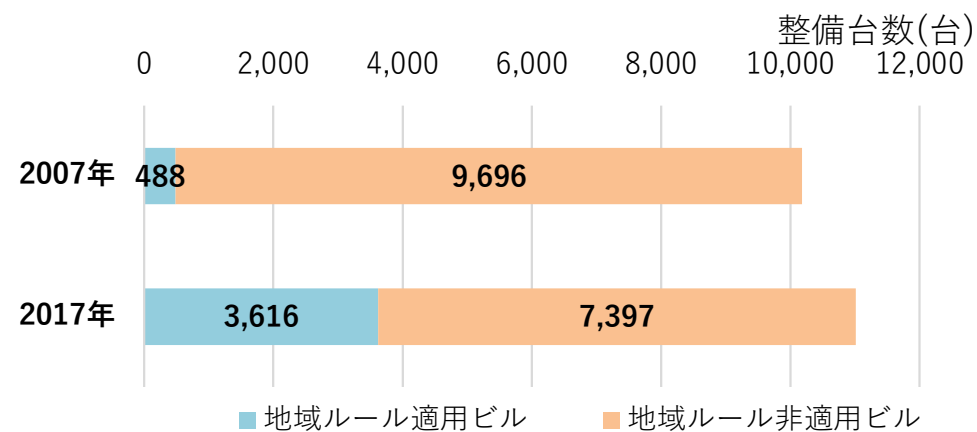
2-2 大丸有地区の駐車スペース(2)

- 大丸有地区の駐車場の95%は、建物の床面積に応じて整備する附置義務駐車場となっています。
- 地区の床面積は、再開発によって1.2倍以上の増加ですが、ほとんどの新築ビルの駐車場は、地域ルール適用を受けて建物の駐車需要に合わせた整備となり、結果として台数削減がなされ、地区全体の附置義務駐車場台数はほぼ横ばいとなっています。
(地域ルール適用の駐車場台数は、計画・竣工前も含め21ビル5,573台あり、そのうち2017年までに16ビル3,616台が供用され、地区全体の供用台数の1/3を占めています。)



資料) 大丸有協議会アンケート(2001年)および
駐車需給実態調査(2017年)より作成
※調査未回答分は含まない

図2-2 附置義務駐車場と都市計画駐車場の整備台数

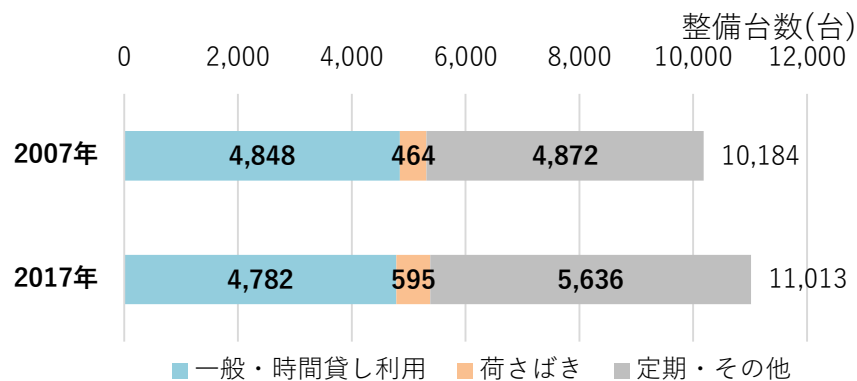


資料) 駐車需給実態調査(2007,2017年)より作成
※調査未回答分は含まない

図2-3 地域ルール適用と非適用の駐車場台数

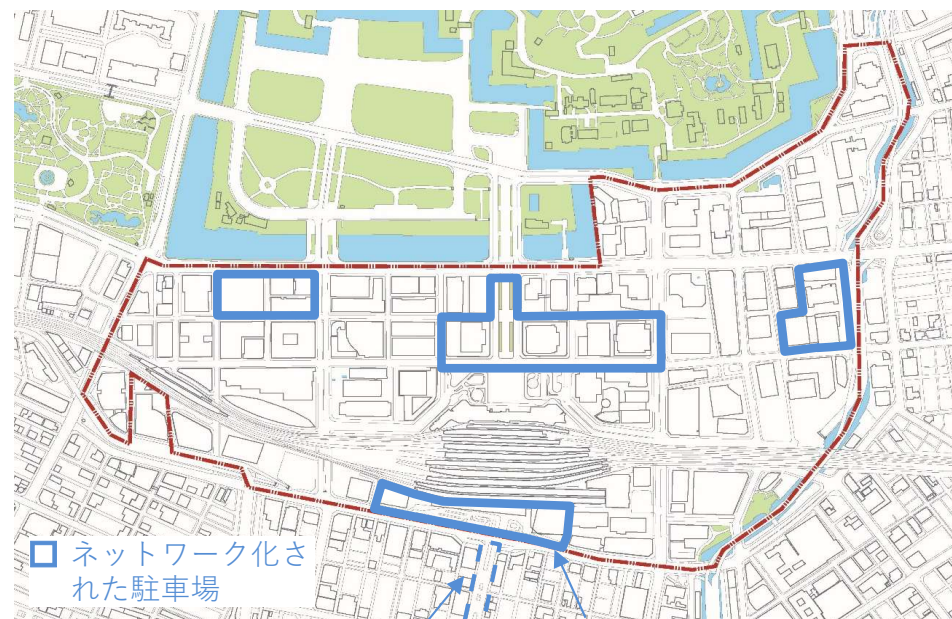
2-3 駐車場の運用形態 -使いやすい駐車環境を目指して-

- 大丸有地区全体の駐車スペースの半数ちかくは、「一般・時間貸し」駐車場として、広く一般に開放されています。
- 大丸有地区の地域ルール適用では、使い易く地域に開いた駐車場や荷さばき駐車場の充実が進められています。その結果、地区全体での荷さばき駐車場の台数は、この10年間で約3割の増加となっています。
- 東京駅周辺のいくつかの駐車場では、入出庫の利便性向上や地上交通との錯綜を避けるよう地下通路でネットワーク化され、相互利用等、連携した運用がなされています。



資料) 駐車需給実態調査 (2007, 2017年) より作成
※ 調査未回答分は含まない

図2-4 大丸有地区全体の駐車スペースの運用形態の内訳



八重洲駐車場(東)は八重洲駐車場(西)およびグラントウキョウと接続してはいないものの一体的に運用

図2-5 地下接続された駐車場の位置図